

令和6年度 湖南小学校グランドデザイン

学校教育目標 社会の中で、私もみんなも「幸せ」になる

めざす子どもの姿

励む子

- ① 大きな声で発表する湖南の子
- ② 友達とわかり合う湖南の子
- ③ 地域にあこがれをもつ湖南の子

本校児童の良さと課題

〇よさ

- ・素直で純朴である
- ・仲がよく、助け合って協働的に活動している
- ・お互いをよく知っていて、友達の個性に理解がある

〇課題

- ・主体的に考えて発言したり、動いたりすることが苦手

諏訪西中学校区児童生徒の良さと課題

〇よさ

- ・学習への意欲関心態度が伸びている
- ・コミュニケーションを大切にして、友達と協働できる

〇課題

- ・見通しをもって自分で頑張ろうとする力が弱い
- ・達成が難しいことに対して簡単に諦めてしまう

重点 1

大きな声で発表する

- ◎子どもたちが、「やりたい」、「学びたい」と願ったことを実践する授業
- 子ども達の言葉で進める授業
- 文房具としての、ICT機器の効果的な活用
- 子どもたちによる学んだことの発信
- ◎子どもたちが「わかる」授業、「楽しい」と感じる授業
- 自分から取り組む時間と方法の確保
- 自分のよさに気づく振り返り
- ◎自分の考えに自信がもてる活動
- ペア・グループ学習による情報交換
- 伝え合う学習の楽しさを実感
- あきらめずにやりとげる
- 個に応じた適切な学びの場の提供

重点 2

友達とわかり合う

- ◎友達を認め、共に成長する子ども
- 小小・小中交流によるつながり
- 異年齢活動による支え合い、助け合い
- ◎考えや価値観の違いを解決していく子どもたち
- 心を育てる「特別の教科 道徳」
- いじめや差別を許さない「人権教育」
- 心を豊かにする読書活動
- ◎特別支援教育の充実
- コグトレ（認知トレーニング）・MIM（多層指導モデル）の活用
- 1時間の授業の流れがわかる板書
- 支援方法の共有
- LITALICOを活用した児童理解

重点 3

地域にあこがれをもつ

- ◎生活科・総合的な学習の時間の充実
- 自分・友・ふるさとを大切にする学び
- 地域に関わり、地域に触れ、地域のよさを実感する「すわっこ学習」
- ◎人の役に立つ喜びを感じるキャリア教育
- 地域の人々の営みを知る、地域探検や社会科見学
- 作るものと作る思いを、人へとつなげる、相手意識に立つものづくり科
- ◎命を守る、防災・減災教育
- 地域に生きる自分にとっての、貴重な体験の場
- 地域に起こりうる災害を具体的に知り、自分の役割を考える

【学力向上のために】

Ⅰ 授業改善

- ①自分の課題に向かって学習に臨む意欲がもてる授業
- ②対話によって課題追究ができる授業
- ③インクルーシブ教育による学習保障
- ④湖南小ユニバーサルデザインによる安心して学べる場の保障

Ⅱ 子どものための働き方改革

- ①子どもと関わる時間の確保、教材研究のための十分な時間の確保
- ②やりがいの自覚、自分の授業がよくなっていく実感
- ③校内、校外、自らの希望等による研修の積み重ね

地域との連携

- ・湖南地区防災連絡協議会との連携
- ・公民館、なかよし広場、博物館等との連携
- ・湖南の子ども像に意見を寄せてくださる方々との連携
- 湖南小 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
- ・湖南で育つ子に願う姿の共有
- ・あいさつ、学ぶ環境への支援等を通して育てる
- ・「花まるこなみ」「環境支援」
- 「おはなしぽぷら」「ふれあい農園」
- 「キョロキョロブラブラ」「地域ふれあい活動」